

阪急塚口・阪神甲子園両駅前ビル 駐輪場、有料でも好評

◇買い物客、車輪固定で倒れず安心――負担にならぬ料金も魅力

阪急塚口(尼崎市)と阪神甲子園(西宮市)両駅前の商業ビルで最近、コイン式の有料駐輪場が相次いで導入された。両ビルは駅前の便利な立地のため、通勤客の自転車が買い物客の自転車を圧迫する事態になっていたといい、関係者は「駐輪場が利用しやすくなれば、施設の活性化にもつながるのではないかと期待している。【中里顕、加藤美穂子】

塚口駅前の「塚口さんさんタウン」と、甲子園駅前の「ダイエー甲子園店」。さんさんタウンは先月15日から、ダイエーは今月5日から新駐輪場の運用を開始した。

さんさんタウンを管理する尼崎市の三セク「尼崎都市開発」や同市によると、機械化する前の駐輪場は無料で、周囲にはざっと3000台が駐輪されていた。駅周辺には民間や阪急の駐輪場5カ所があるが、ほぼ満杯状態で、無料の同施設駐輪場に流入していたらしい。自転車は施設の通路にもあふれ「狭くて歩きにくい」などの苦情が絶えなかった、という。

先月導入されたのは、自転車の車輪を枠に入れる無人の機器で、約1900台が駐輪可能。料金は▽2時間まで無料、100円を入れると4時間まで利用可能▽3時間まで無料で200円を入れれば24時間まで利用可――の2種類がある。カードで自由に出し入れできる定期券(1カ月1800円から)も導入した。

導入後は放置自転車が減少したといい、駐輪場を利用していた同市の主婦、五十嵐美代子さん(56)は「以前はペダルが引っかかったりして自転車の出し入れも大変だったが、今後は安心」と話した。

一方、ダイエーの入るビルを管理する「丹青モールマネジメント」や西宮市などによると、ここも駅前に市営の駐輪場があるがやはり満杯状態で、通勤客の長時間駐輪が問題になっていたという。新しい機器で駐輪できるのは約1200台。料金は最初の2時間(地下は3時間)無料で、6時間ごとに100円。一部は最初の30分まで無料、12時間ごとに150円だ。施設側は「買い物客の利用はほとんど2、3時間以内なので、このシステムなら負担にならないはず。自転車は1台ずつ固定できるので、倒れて破損するのも防げる」と期待している。



駅まで自転車通勤したいのに駐輪場がない、という声は切実だが、商業施設の悲鳴もまた、もっともだ。駅周辺の土地に限度がある以上、有料化も仕方ないのでは、と感じた。